

Eiche

Die Eiche テイ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in der Präfektur Chiba

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町 2-681 ワールドナーシングホーム内

Phone: 047-467-6111 Fax: 047-467-6123

第15回 ドイツ軍人慰霊祭開催



慰霊の辞を述べるフ大佐



集合写真

秋晴れに恵まれた11月15日(日)、当協会発足のきっかけとなったドイツ軍人慰霊祭が慰霊碑の立つ船橋市習志野霊園に、習志野第九合唱団有志15名を加え60名を越える参加者を集めて11時から平野浩康事務局長の司会で開催された。まずドイツ国歌がテープで流され、全員で黙祷した後、宗宮好和会長代行、ドイツ大使館武官ヴォルフガング・フリッシュフート空軍大佐、船橋市長代理として矢野治環境衛生課課長、習志野市長代理として加藤清一習志野市教育委員会生涯学習部長が追悼・慰霊の辞を述べ、更に橋口昭八副会長が御霊紹介、友野信善理事の指揮で、参加者全員が軍人葬送歌を合唱。この後、フリッシュフート武官はケイコ夫人と共に大きな花輪を献花、続いて参加者全員が菊の花を墓前に供え慰霊祭を終了した。集合写真を撮影後、自衛隊第一空挺団習志野駐屯地食堂で開催の直会には、武官夫妻、宗宮会長代行、臼井日出男名誉会員、空挺団長代理の平井祐司第一科長、縄田豊宏船橋市習志野自治会長等も参加。武官からは宗宮代行に慰霊の寄付金が贈呈された。また臼井名誉会員がこの機に旭日大授章受章の挨拶をされ、相良實会員がベルリンの壁崩壊20周年を記念し、ドイツ国歌一番の自筆カリグラフィーを武官に贈呈。伊東惇子監事が特別資料「ドイツ兵の墓」を朗読。13時半に閉会した。

慰霊の辞

ドイツ大使館武官
ヴォルフガング・フリッシュフート

ご出席の皆様、

皆様と共にこの慰霊祭に参列するのもこれで四年目になります。この四年の間、参列者の数は増え、皆様の後ろにあるドイツの樫の木も立派に大きくなりました。

ヴォルカー・シュタンツェル駐日大使に代わりまして、皆様並びに千葉県日独協会には、この墓地の維持の為、長年に亘り多大なご尽力をいただきましたことに感謝申し上げます。

今年もまた、この様に厳かな式典を行なえますことに感謝申し上げますと共に、来年も皆様のご協力をこの場でお願ひしたいと思います。私達は毎年ここに眠る三十人のドイツ人兵士に思いを馳せています。この人達は一九一五年から一九九年にかけて日本で捕虜生活を送る間にスペイン風邪で亡くなったのです。

当時の収容所長は捕虜に対する責任感から最後まで収容者の元に留まり、やはり同じ病気に罹りました。収容所長は他の墓地に眠っています。昨年、かつて収容所があった公園に建てられた新しい記念碑を見せていただきました。

長い年月を経て、新たに記念碑が建てられたこと、そして今日のこの慰霊祭を思うにつけ、当時の人達、ドイツ人捕虜、更には千葉の人々が今日まで続く両国の友好に大きく貢献してきたことを強く感じます。

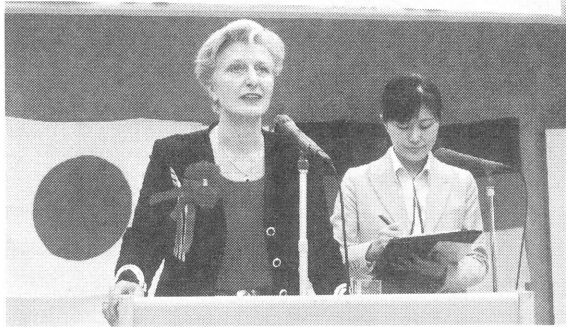
この意味からも、今ここに眠るドイツ人兵士だけでなく、先の両大戦で亡くなられた皆様のお身内の方々、そして更に世界中で戦争の犠牲となった全ての人達にも思いを馳せたいと思います。

皆様と共に、黙祷いたしましょう。

平成22年 新春講演会 (詳細次号)

快晴の1月30日(土)、千葉県庁側のホテル「プラザ菜の花」に於いてドイツ大使館 Dr.アンナ・プリンツ公使による新春講演会が、80名の参加者を集めて開催された。公使は、『ドイツ統一20周年、政治、経済の動向』と題して、ベルリンの壁崩壊と東西統一以降、現在までの状況を拡大EUとの関係も含め、詳細に亘り講演された。終了後、1階のレストラン「フロール」にて懇親会が開催され、平尾浩三会長、プリンツ公使の挨拶の後、ゲストの堂本暁子前知事は、デュッセルドルフ市との友好関係が、故エルヴィン前市長の大変な熱意で2005年に始まったことを裏話を含めて紹介された。更に一昨年研修生として来葉し、現在千葉大に留学中のモルゲンシュテルン君、習志野市より教育功労賞を授与された友野信善理事のスピーチ等があり、18時半過ぎ盛会裡に終了。

日独協会 新春講演会



講演するプリンツ公使

忘年会開催

当協会久々の忘年会は、12月12日(土)17:00過ぎより、稲毛の新高洲橋近くにある、カフェ「JIN」に31名の会員を集めて開催された。会は先ず今回の企画をした司会の小野浩常任理事、続いて宗宮会長代行の挨拶で始まり、橋口副会長の乾杯で歓談をしながら食事に。店が用意した食事・飲み物の他に、会員が持ち寄ったワイン、スピリッツ、タカラ食品工業や大山ハム寄付によるソーセージ、ハムが所狭しと並べられて、食べきれないほど。県庁の加瀬さんのギター、鎌形さんのピアノによる演奏、木野本さんの歌を楽しんだ後、11月3日に叙勲された白井日出男名誉会員、石河正夫会員のスピーチがあり、天野秀三郎会員から会員による差し入れ明細の紹介が行なわれた。更に、全員で「リンデンバウム」、「ローレライ」、「野バラ」、「上を向いて歩こう」、「ムシデン」などを合唱。また、須古正恒会員の司会でナマオケに移り、石河会員がカンツォーネを披露、白井名誉会員は「武田節」を歌うなど、会は大いに盛り上がった。ナマオケが一段落した所で、新春講演会、5月末の「ドイツ旅行」などの説明が行なわれ、8時半過ぎに散会。



全員で合唱

— 今後の主な催し物案内 —

1. 第4回「楽しくドイツ語を話す会」

- ・日時：2月27日(土)午後3時30分開始
- ・会場：①午後3時30分～午後4時45分
於船橋中央公民館階 第9集会室
(船橋市本町2-2-15 電047-434-5551
JR/京成船橋徒歩5分)
- ②午後5時～7時近くの居酒屋でドイツ人と自由会話
- ・会費：3,500～4,000円(居酒屋飲食代を含む)
- ・指導：千葉大学言語教育センター
清野智昭先生(当会会員)
ドイツ人学生等数名参加
- ・申込先：川口正光：携帯：090-6485-6017
館野鷹二郎 Fax：047-486-0178
坂本宗秋 e-mail:sakmtmk@ybb.ne.jp
- ・申し込み期限：2月23日(火曜日) 定員制

2. ドイツ旅行勉強会

- ・日時：平成22年4月8日(木)、同15日(木)、同22日(木)、5月6日(木)の全4回。
各回共、時間は15:00～18:00
- ・場所：船橋中央公民館
- 日程：4月8日 前半「ハンザ都市の文化遺産」
岡村三郎先生(会員)
後半「ドイツワインとビール」
近藤弘先生(会員)
- 4月15日 前半「グリムとその作品」
宗宮好和会長代行(会員)
後半「私とドイツ」座談会
- 4月22日 前半「ハンザ都市リューネブルガーハイデの旅の見所」
橋口昭八副会長(会員)
後半「旅行説明会」
近畿日本ツーリスト森課長
- 5月6日 前半「ドイツと音楽」、
土屋 有里先生
後半「トーマスマン、その落穂ひろい」
澤井 秀之先生(会員)

なお時間割とテーマは、一部変更の可能性あり。
教材；当日、会場で配布します。

会費：全4回で2,000円

連絡先：館野 047-485-9311 (F: 047-486-0178)